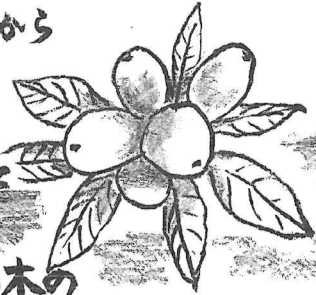


夢窓幼稚園通信第12号

2025年 5月 30日

毎年 この頃になると浮かんでくる「びわ」の歌……
まどみちおさん（「ぞうさん」などの作詞者）の歌詞に
ほのぼのとした気持ちになります。

びわは やさしい木の実だから
だっこしあって うれている
うすい虹ある ろばさんの
お耳みたいな 葉のかげに



りんごぐみの入口近く、もくれんの木の
横の鉢で大きくなった びわの木では、ほんのいくつか
ですが びわの実が 5月の風の中で、毎日少しずつふくらんで
いきます…。やわらかい やわらかい葉に包まれながら…。
6月の雨の季節を迎える前には、美味しそうなビワ色に
輝くことでしょう！

子どもたちと遊んでいて「きょうは あめがふるのかな？
あめのきせつが もうすぐ やってくるね」と言うと、「あめは
きらい。だって そとで あそべないから」と。
そうだよね。

「あめの すきなところは どんなところ？ ほら、おみずぎのめる
のも、やさしいが おおきくなるのも、あめがふるからだよ」

「あめが ふって とろーりができる！」「ばしゃ ばしゃあそ
べる！ ぴちち ぴちち ちゃぶ ちゃぶ らんらんらん！」

雨は嫌と言っていた子どもたちも、あっという間に、
雨の素敵なところを みつけて教えてくれました。

6月の雨を、今年はどんな風に楽しめるでしょうか。

雨の楽しみ方、雨だからこそのうれしかった経験……
よかったら 教えて下さい。

雨続きの毎日、工夫やうれしいこと見つけて、わくわく
つむいでいきたいと思います。

園長 弁光 泰雄